

2024年活動報告 2025年度経営方針 株式会社トレリハ



(株)トレリハ経営方針

会社の進むべき基本的方向と目標



経営理念

「Motion is Life」 動くことは生きること

1. 私達はトレーニングとリハビリテーションで、ケガと介護を予防し、お客様の「動き」 = 「人生」を支えます。
2. 私達はお客様を支えるために「動き」、共にイキイキとした「人生」を送ります

ビジョン

5年

「介護予防・ケガ予防で地域ナンバーワン」
札幌市全区、北海道全市で信頼される存在に

10年

「日本全国、そして世界へ 動く力を支える未来へ」
全ての人に動き続ける人生を届ける存在に

バリュー

1. 科学と成長を軸にしたプロフェッショナリズム
・科学的根拠に基づいたサービスを提供し、常に学び続けます。
2. お客様ファーストの伴走者
・目標や生活背景に寄り添い、「できる」を一緒に増やしていきます。
3. チームで挑み、共に成長する
・多職種が連携し、支え合いながら挑戦し続けます。
4. 予防がつくる未来の健康
・予防を軸にしたサービスで、動き続けられる社会を創ります。
5. 地域から広がる、つながりと貢献
・地域に根ざしながら、全国・世界へ健康の輪を広げます。
6. 仲間の幸せを土台に
・多様なライフスタイルを尊重し、安心できる職場環境をつくります。
- ・私たち自身も「また来たい」と思えるチームであり続けます。

事業展開の方向

- ✓ 介護事業: デイサービスを多店舗およびFC展開
高齢者住宅の運営
- ✓ メディカルフィットネス事業: 医療機関と連携を深め、地域の学生の怪我予防とアスレティックリハビリテーション、60歳以上の介護予防を担う。地域のクラブ活動に積極的に関わっていく。
- ✓ システム開発、販売: 現在のシステムを販売し、健康高齢者向けの新アルゴリズムを開発する

中期経営目標5年

- ✓ 介護施設: デイサービス施設 直営店4件 1.8億円
- ✓ システム販売: 100件 1,000万円
- ✓ メディカルフィットネスクラブ: 直営1件 1,000万円
- ✓ スポーツチーム契約: 5チーム
- ✓ システム開発: 今のシステムを基盤に健常人向けを開発

目標達成のための道筋 (手段・方策)

- ✓ 人: キャリアアップ制度を整備
- ✓ 資金: 自己資本比率を上げる
- ✓ デイサービスの集客スピードアップするスキームを構築
- ✓ デイサービス事業とシステムを連動した、FCを構築

働きがいのある会社づくり

- ✓ 介護職、リハ専門職の北海道平均年収を上回る賃金を継続
- ✓ スタッフが希望する事業に関わるような配置、教育
- ✓ 就業規則に社員の意見を反映し、毎年更新する
- ✓ スポーツ競技を継続しながら、勤務できる体制づくり
- ✓ 子育中も働きやすい環境へ

企業の社会的責任

- ✓ 60歳以上の体力低下を防止する
- ✓ 住民の介護度の進行を遅らせ、自分らしく過ごしてもらう
- ✓ 怪我予防を通して、子どもたちの健やかな成長と体力向上を促す

数値上の目標

- ・財務 売上2億円、自己資本比率20%
- ・身体機能 利用開始から半年以内に、90%の方が身体機能の改善を実感できる支援をする。
- ・介護度長期維持および短期改善

単年度経営計画：第14期経営計画

(自：2025年5月1日～至：2026年4月30日)

経営目標（今期の重点課題）

「数字で語る、動きの変化」
売上高 1.15 億円→黒字化へ
トレリハ効果の見える化する
社内ルールの運用

数値目標

	前期	今期
売上高（千円）	105,595	115,000
営業利益(千円)	▲3,381	3,000
労働分配率（%）	59	56
自己資本比率（%）	13.4	17

経営目標達成のための道筋（どのように目標を達成するか手段・方策を具体的に記載）

デイ：体力に加えて、介護度の維持・改善、ADL改善調査を行い、効果検証を行う。学会発表を行う。
メディカルフィットネス：新しいグループレッスンで、新規会員20人獲得。
システム販売：介護ロボット支援事業補助金対象になったので、新規契約30件。

計画の概要

検討の視点	計画の内容
●顧客の視点	デイ、メディカルフィットネスで顧客アンケートを実施し、要望に答える。
顧客満足度アップへ	新製品・サービス開発で、付加価値を高める
新製品・サービス開発で、付加価値を高める	メディカルフィットネスで、地域小学生向けの体操教室を開始する。
●業務プロセスの視点	就業規則の改訂と社内規則の運用開始、雇用保険加入スタッフの3ヶ月目標シートの運用開始
●人材の視点	働きがいのある、人を生かす経営で付加価値の高い人材となる実践
働きがいのある、人を生かす経営で付加価値の高い人材となる実践	機能訓練員の学科試験を実施。 経営管理コース以外のマイスタープログラム制度を作成。
●社会的責任の視点	企業の本業と社会的責任
企業の本業と社会的責任	地域高齢者の身体機能維持・改善と、アスリートのパフォーマンス維持・怪我予防において、成果にこだわる支援を展開する

2024年度各事業報告

トレリハセンターていね

トレリハセンターていねでは、昨年4月より要介護認定を受けている方を対象としたサービスへ変更し、この1年間で56名の利用者様が新たに増えました。

当センターにはリハビリ専門職が多数在籍しており、お一人おひとりの利用者様に合わせた最適な運動メニューを提案しています。例えば、昨年の春には車椅子を使用し、送迎車のリフトを利用されていた方が、今ではリフトなしで乗車できるようになり、さらに歩行訓練を実施するまでに回復されたケースもあります。

また、利用者様のご自宅などを訪問し、生活環境の整備に関するアドバイスや、歩行器・杖の効果的な使い方についてもサポートしています。

地域活動にも積極的に参加し、「RUN伴ていね」や「手稻区通所サービス連絡会」といった活動を通じて、地域との連携を深めています。2025年度も、スタッフ一同、より多くの利用者様の心身の健康増進に貢献できるよう、一層精進してまいります。



予防専門リハビリセンター トレリハプラス

2024年4月にオープンした「予防専門リハビリセンター トレリハプラス」は、「あなたの歩きにプラス」をキャッチコピーに、90分間で一人ひとりに最適な運動プログラムを提供しています。

歩きを変えることは筋力以上に難しいとされるなか、トレリハプラスでは、わずか半年間のご利用で歩行スピードが13%も改善しています。この結果には、解析を依頼した札幌医科大学の研究者も驚いていました。利用者様は自信を取り戻し、ご家族での旅行を楽しむ方も多いいらっしゃいます。リハビリの一環として、トライアルでのお買い物も大変好評です。

注目すべきは、当施設の個別運動プログラムの効果です。日本最高齢バスケットボールプレイヤーのシート飛距離向上を8ヶ月で実現した実績は、まさにその証明です。2025年度も、スタッフ一同、利用者様のより豊かな生活のため、一層尽力してまいります！



メディカルフィットネス「トレリハCLUB」

トレリハCLUBはフィットネスクラブ事業に加えて、地域やスポーツトレーナー派遣など幅広い活動を行っています。まず施設内では、当社独自の運動評価・管理システム「トレpro」を活用した新たなグループレッスンを開始しました。お客様一人ひとりに合わせた運動メニューを作成し、3ヶ月間を1クールとして継続的に取り組んでいただきました。その結果、下半身の筋力が関与するSS5（立ち座り動作の速さを測る種目）において全員の数値が向上するなど、非常に良好な成果を得ることができました。

また施設外では、中学・高校野球部および手稲区の中学校のバスケットボール部の練習に帯同し、選手の身体のチェック、トレーニング指導、定期的な体力測定を行いました。選手自身が自分の変化を実感しながら目標に向かえるような環境づくりを意識して取り組みました。

さらに、スキージャンプ日本代表・伊藤有希選手(株式会社土屋ホームスキー部 TEAM TSUCHIYA所属)のサポートを行っており、今年1月のW杯札幌大会では理学療法士の小山田が試合前日のケアから当日のコンディショニングまでサポートを実施しました。本人と丁寧にコミュニケーションを取りながら、その日の状態に合わせて調整を行なうなど、トップアスリートの現場で非常に貴重な経験を積むことができました。

地域活動としては、住民主体の介護予防活動にて体力測定や運動指導を担当しました。また、札幌駅地下歩行空間(チカラホ)で開催されたNoMaps Wellness2024に出店し、手稲区を飛び出して「トレリハ」の名前を発信する機会となりました。今後も、年齢・性別・障害の有無・地域や競技レベルを問わず、お客様一人ひとりの目標達成をサポートできる存在として、幅広い現場での貢献を目指していきます。



運動プログラム自動作成システム「トレPro」

販路拡大とブランド認知度向上のため、道内外の機器展や学会へ積極的に出展しました。また、新LIFE（科学的介護情報システム）に即したシステム改修を段階的に実施。情報発信では、SNS活用を強化したり、ご契約者様インタビューを基にパンフレットを見直しました。

さらに、サッポロ・ヘルスケアビジネス・サポートプログラムの採択を受け、デイサービスDX推進を目指した機能訓練システムの日韓共同開発など、国際的な視野でイノベーションを追求しました。

経済面では、利用料金の改定、各種補助金・助成金への対応を強化し、お客様の負担軽減と持続可能な事業運営の両立を図りました。

これらの成果を踏まえ、2025年度はさらなる飛躍を目指します。具体的には、モニター利用の促進を通じて、より多くの方々に製品の価値を体験していただく機会を創出します。また、経済産業省AMED事業参画により、更に革新的な製品・サービスの創出を目指します。

そしてこれらの活動と連動し、販促拡大を図り、市場での存在感を一層高めていく所存です。

2025年度はより一層、質の高いサービス提供と事業拡大に邁進してまいります。



2024年度 社内全体研修会

弊社では社内全体研修を毎月1回、全12回を計画・実施してまいりました。

昨年度は札幌医科大学の井平先生を講師として老年医学を学ぶことから始まり、主に法定研修(認知症研修、高齢者虐待防止、BCPなど)を外部の講師の方々へ依頼し開催することや、弊社の職員が担当し行なうこともございました。

その他には、リハビリ特化型デイサービスであることや、多職種が在籍しているのでトレーニング研修を行うことで、よりお客様に質の高い運動指導や個人のスキルアップを目指すため実施されました。



トランクソリューションコアのリハビリ活用

弊社では昨年4月より体幹訓練機器「トランクソリューションコア」を導入し、より質の高いリハビリテーションを推進しています。

「トランクソリューションコア」は、装着して歩行訓練や運動を行うことで、体幹の伸展と骨盤の前傾を促し、さらにインナーマッスルの活動を促進する画期的な機器です。これにより、姿勢の改善や体幹筋力の向上が見込めるとしています。

実際に、各事業所でこの機器をご利用いただいている利用者様からは、歩幅の増大や歩行スピードの改善といった目に見える効果が確認されています。また、数値上の変化には現れていないものの、「歩行時の足の振り出しやすさ」や「装着して歩行する際にストップ動作がしやすい」といった、日常生活における具体的な動作の改善を実感されている方もいらっしゃいます。

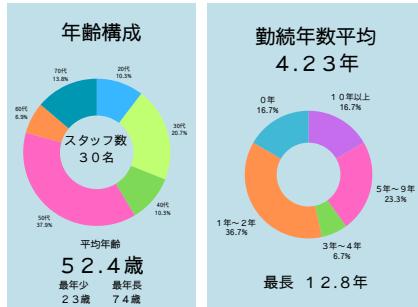
導入からまだ日が浅いですが、今後も「トランクソリューションコア」を積極的に活用し、利用者様一人ひとりの筋力向上とADL（日常生活動作）の改善に貢献できるよう、スタッフ一同、引き続き尽力してまいります。



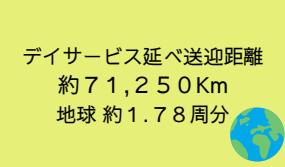
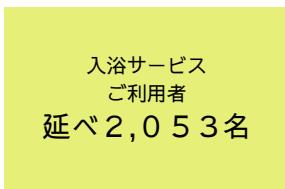
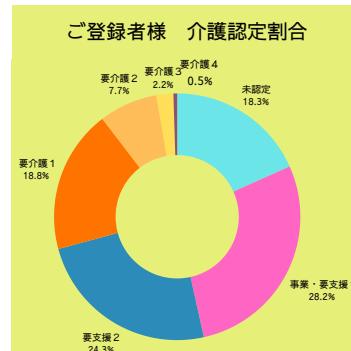
数字で見るトレリハ2024

会社設立年月日
2012年5月25日(金)

トレリハスタッフ



トレリハセンター・トレリハプラス・トレリハCLUB



ご協力いただいている皆様



PDR
一般社団法人
身体開発研究機構
Institute of Physical Development Research

よろずや
内店舗
くわしくお問い合わせくださいなど解決します

NPO法人
タダカヨ
タダでカイゴをヨくしょう!

Leapal
会計事務所

株式会社
Health Link

Z 善光総合研究所
ZENKOU RESEARCH INSTITUTE

リバティトランジンベスター

NPO法人失語症サロンいーたいむ

医療法人秀友会

手稲家庭医療クリニック

SNSで応援

各事業所でSNSもやってますのでぜひフォローやシェアお願いします!



@TOWERIHA_TEINE
トレリハセンター・
トレリハプラス



@TOWERIHA_CLUB
トレリハCLUB



@TREPRO1
クラウドシステム トレPro

会社名

株式会社トレリハ

所在地

〒006-0815
札幌市手稲区前田5条13丁目3-1トライアル手稲店2階

事業内容

トレPro開発・販売、デイサービス2店舗運営、メディカルフィットネス運営・アスリートコンディショニング事業 など

TEL

011-624-5107

Mail

info@toreriha.com